

厚生労働科学研究費補助金（長寿科学政策研究事業）
総括研究報告書

介護領域におけるエビデンスに基づく高齢者のリハビリテーションの適応等についての研究

研究代表者 西村 行秀 岩手医科大学リハビリテーション医学

研究要旨 介護領域におけるリハビリテーションを効果的に実施するためには高齢者の診察にあたるリハビリテーション科医、各疾患領域の医師や医師以外の医療職種が適切にリハビリテーションを提供できるようにする必要がある。本研究で介護保険制度のもとで適切なリハビリテーションが提供できるようにガイドラインを作成する。

研究分担者氏名・所属研究機関名及び所属研究機関における職名

(分担研究報告書の場合は、省略)

A. 研究目的

本研究の主目的は介護領域におけるリハビリテーションを効果的に実施するためのガイドラインを作成することである。

B. 研究方法

本研究を計画的に進行するために適宜会議を設け、議題を検討した。診療ガイドライン作成のためのトピック、クリニカルクエスチョンなどの選定、決定のために多職種で構成したシステムティックレビューチームを設置した。メンバーでその内容を検討し、キーワードの絞り込み作業と確認を行った。さらにクリニカルクエスチョンを作成した。
(倫理面への配慮)
岩手医科大学の倫理審査に提出中である。

C. 研究結果

2021年度において、web会議は20G A 0101班との合同会議が計4回、班会議を計11回開催した。対面会議は20G A0101班との合同WGを計5回開催した。

2020年度におこなったシステムティックレビューをもとに3章の大項目と20の中項目を設定した。

大項目は①高齢者の身体機能を高める方法について。②高齢者の意欲を高める方法（心理的サポート）について。③介護領域の高齢者における疾患別にみたりハビリテーションの留意事項について。とした。中項目は①で11項目、②で2項目、③で7項目とした。

D. 考察

昨今のCOVID-19関連による様々な問題等で研究の進行が若干遅れている。次年度に研究を加速させ、予定通りに研究を遂行する予定である。

E. 結論

現在、研究遂行中で結論はまだである。

F. 健康危険情報

特になし

G. 研究発表

1. 論文発表
2編の英語論文を共著者として投稿中。
2. 学会発表
未定。

H. 知的財産権の出願・登録状況

(予定を含む。)

1. 特許取得
なし
2. 実用新案登録
なし
3. その他
なし